



いえ た ところ じしん たい き
家が建てこんだ所では、地震に対してどんなことに気をつけたらいいの

ひなん場所への通り道確かめておく

だいとかい いえ た ところ す ひと じしん とお みち
大都会の、家が建てこんでいる所に、住んでいる人は、地震でひなんするときの、通り道
やひなん場所を、確かめておく必要があります。

いえ た ところ じしん いえ どうろ とお
家が建てこんでいる所は、地震でこわれた家が、道路をふさいでしまって、通れなくな
ってしまうこともあるので、ふだんから、いくつかの通り道を歩いてみます。

このような所で、火事が起こったときは、火が四方八方へ、燃え広がるおそれがあるの
で、ふだんから、自治会などの防災訓練へ、積極的に参加して、冷静な行動ができるよう
に、心がけておきます。

危険な所へ近づかない

ひなん場所へひなんするときは、次のようなことに注意します。

ふる たてもの まくち ひろ たてもの たてもの とお
古い建物、間口の広い建物は、たおれやすいので、できるだけその建物から、遠ざか
ります。

やね じしん どう お もくぞう たて
屋根がわらが、地震のしん動によって、落ちることがあるので、木造かわらぶきの建
物から、遠ざかるようにします。

ブロックべいや石べい、門柱などもたおれやすいので、近づかないようにします。

せまい路地や、たおれそうな建物の近くは、さけて通ります。

たおれかかっている電柱や、たれ下がっている電線から、遠ざかります。

(監修・国司 真)

